

マリンレジャーにおける海難事故

サーフィン編

令和4年2月

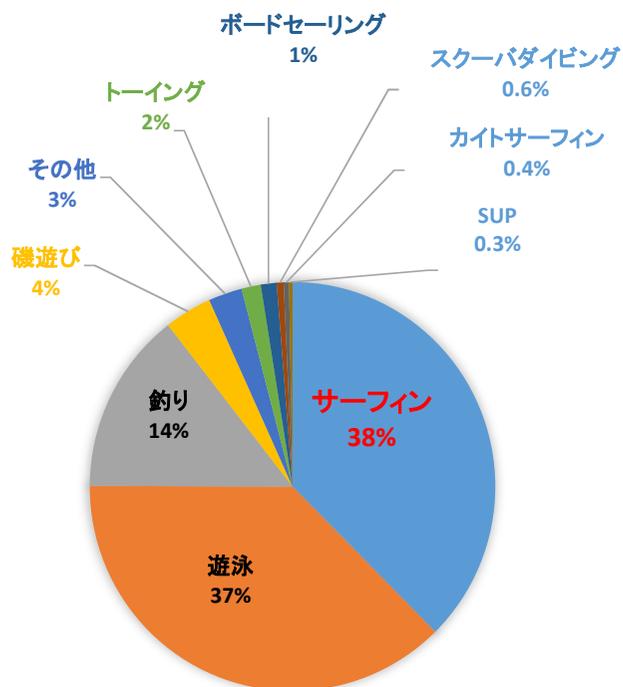


銚子海上保安部

JAPAN COAST GUARD

銚子管内におけるマリレジャー海難事故状況

マリレジャー事故統計(H13~R02)



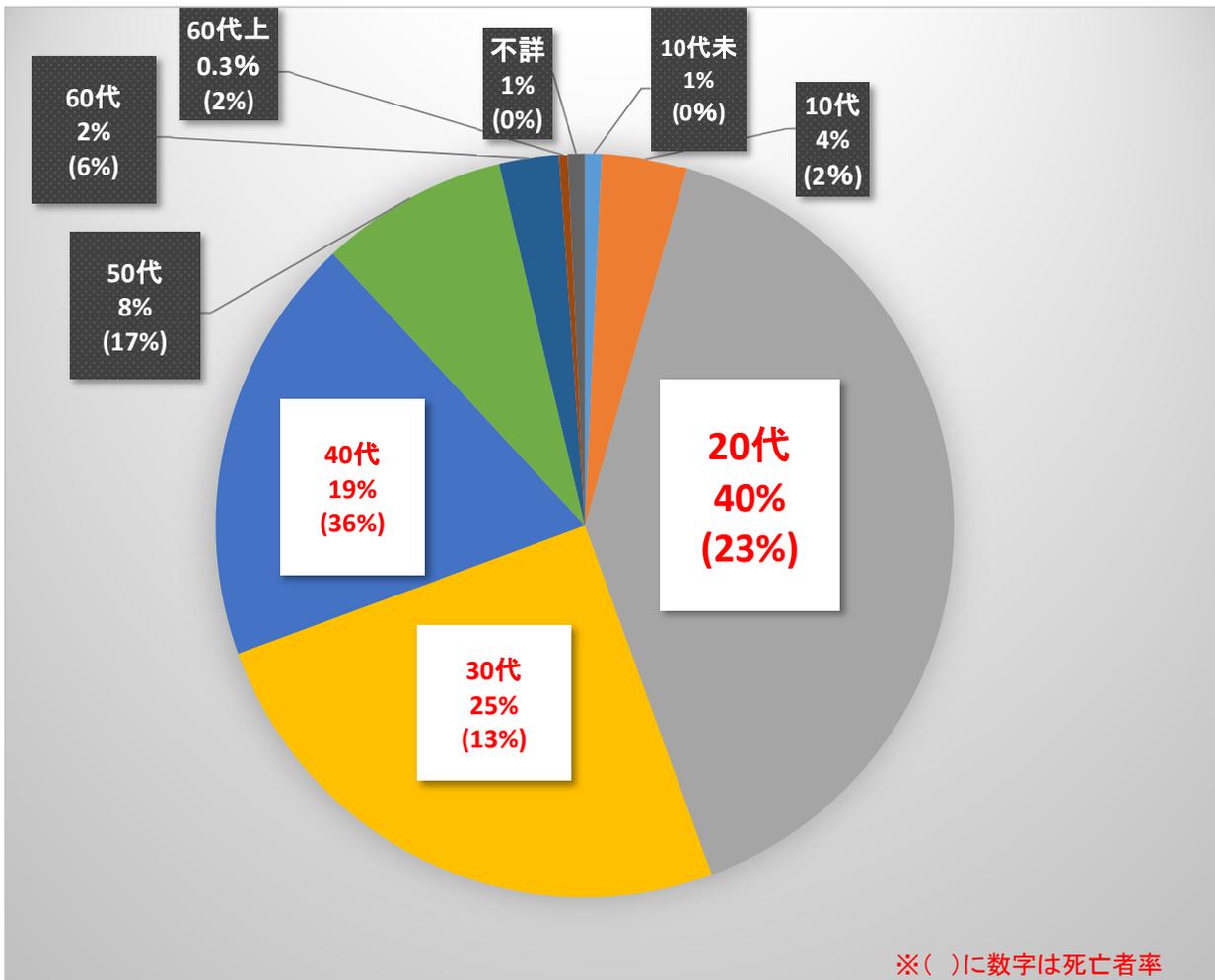
レジャー種目	H13~R02	年平均	死亡	死亡率
サーフィン	268	13.4	44	16.4
遊泳	267	13.4	90	33.7
釣り	103	5.2	40	38.3
磯遊び	27	1.4	11	40.7
その他※	19	1.0	6	31.5
トーイング	11	0.6	2	18.2
ボードセーリング	9	0.5	0	0
スクーバダイビング	4	0.2	1	25.0
カイトサーフィン	3	0.2	1	33.3
SUP	2	0.1	0	0
	713	35.7	195	27.4%

※その他の内訳	死亡者数
水遊び	5(0)
投網	4(4)
子の救助等	3(2)
遊泳場所移動等	2(0)
シュノーケリング	1(0)
ハイドロfoilボードサーフィン	1(0)
沖釣り準備	1(0)
フリスビー	1(0)
水上オートバイ引揚	1(0)

※()の数字は死亡者数

銚子管内でのマリレジャーの海難事故は、年間平均36件発生しており、サーフィンをはじめ18種類のマリレジャーで海難事故が発生している。
 サーフィン 38%で1番多く、続いて遊泳 37%、釣り 14%の順で、この3つのマリレジャーで海難事故の89%を占めている。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン:年代） 銚子海上保安部



	10未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60上	不詳	合計
計	2	10 (1)	107 (11)	67 (6)	50 (17)	22 (8)	7 (3)	1 (1)	2	268(47)
男	1	9 (1)	95 (10)	59 (5)	45 (16)	20 (8)	7 (3)	1 (1)	2	239 (44)
女	1	1	12 (1)	8 (1)	5 (1)	2	0	0	0	29 (3)

最年少：7歳
 最高齢：74歳
 ()の数字は死亡者数

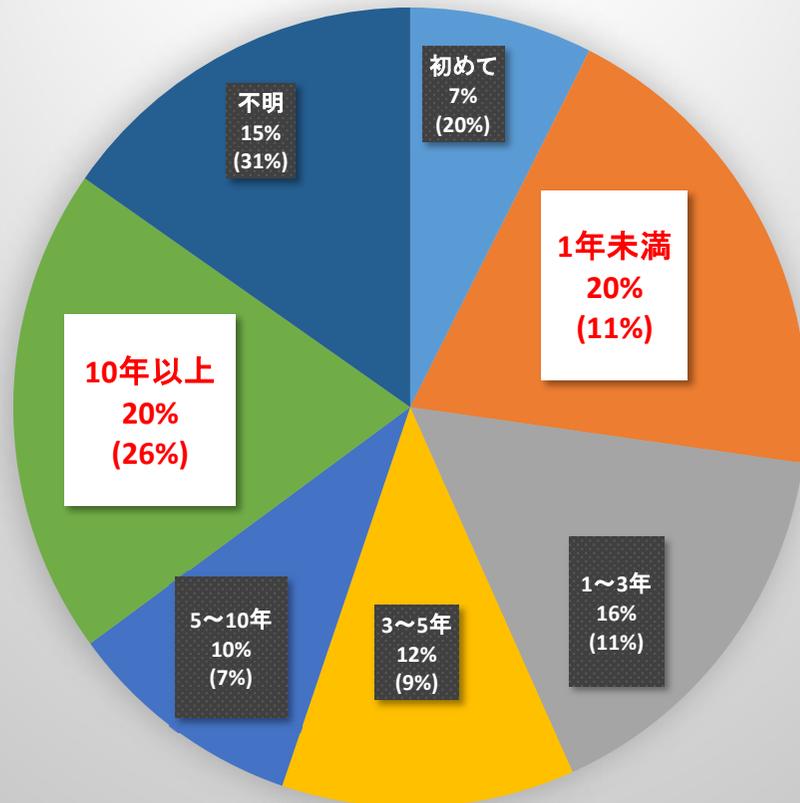
サーフィンの海難事故は10代未満から60代以上と幅広く起こっており、老若男女が行っているマリナーであることが分かる。事故発生は、20代から40代で84%を占めており、男女別では、9対1で圧倒的に男性の海難事故が多い。

死亡事故は、40代17人(36%)、20代11人(23%)、50代22人(17%)、30代6人(13%)の順である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：経験年数）



銚子海上保安部



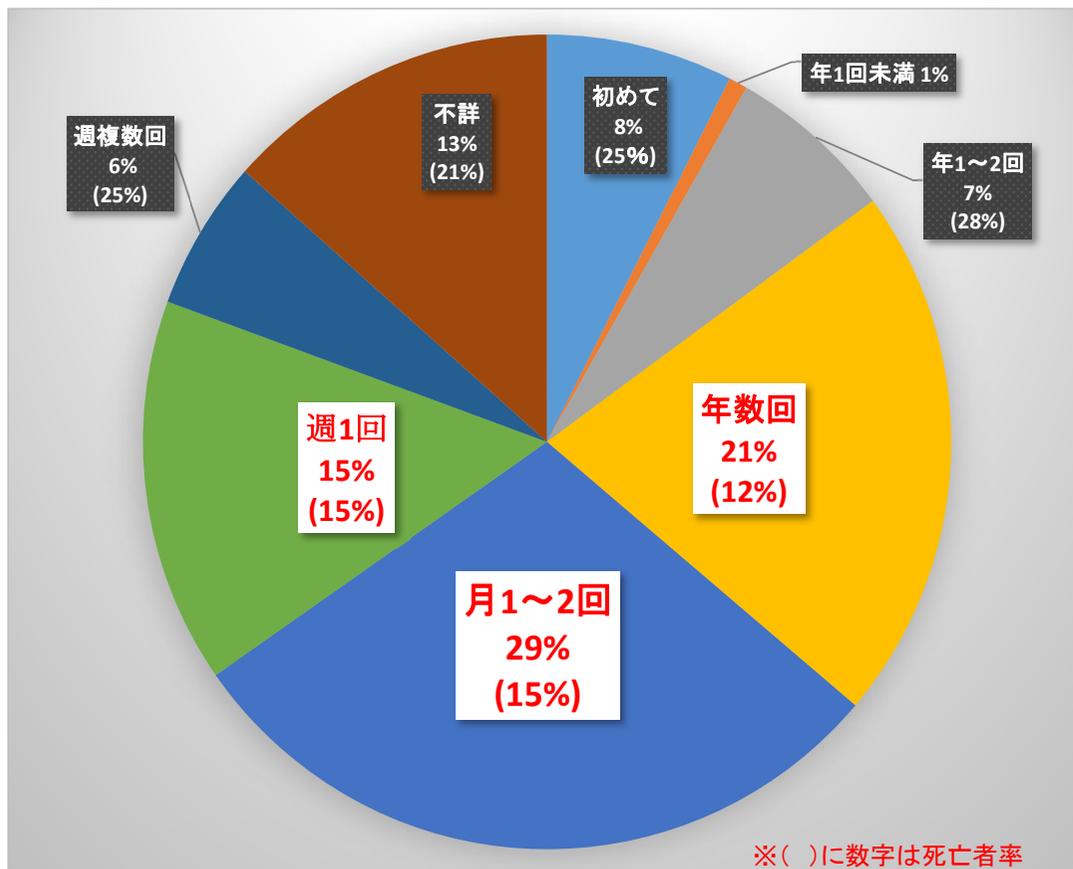
※（ ）に数字は死亡者率

経験年数	10未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60上	不詳	合計
初めて	0	3(1)	11(1)	4(1)	2(1)	0	0	0	0	20(4)
1年未満	1	4	33(3)	9(1)	5(2)	0	0	0	1	53(6)
1~3年未満	1	2	23(4)	11	4	1(1)	0	0	1	43(5)
3~5年未満	0	1	15(1)	11	4(1)	1	1(1)	0	0	32(3)
5~10年未満	0	0	14(1)	8	2(1)	1	0	0	0	26(2)
10年以上	0	0	2	13(1)	22(7)	12(4)	3(1)	1(1)	0	53(14)
不詳	0	0	9(1)	11(3)	11(5)	7(3)	3(1)	0	0	41(13)

※（ ）の数字は死亡者数

サーフィンの経験年数からでは、初心者からベテランまで発生状況に大きな差は見られない。
1年未満と10年以上の経験者の事故が同率の20%と高くなっている。

死亡事故は、経験年数10年以上14人(26%)、初めて4人(20%)、1年未満6人(11%)、1~3年未満5人(11%)である。



活動頻度	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
初めて	0	2(1)	12(2)	4(1)	2(1)	0	0	0	0	20(5)
年1回未満	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
年1~2回	0	0	10(3)	5	1(1)	0	2(1)	0	0	18(5)
年数回	1	4	27(1)	9	11(5)	5(1)	0	0	0	57(7)
月1~2回	0	0	39(5)	24(3)	11(3)	2(1)	0	0	2	78(12)
週1回	0	1	11	14	10(4)	3	2(2)	0	0	41(6)
週複数回	1	1	2	3(1)	5(1)	2(1)	1	1(1)	0	16(4)
不詳	0	2	5	7(1)	10(2)	10(5)	2	0	0	36(8)

※ () の数字は死亡者数

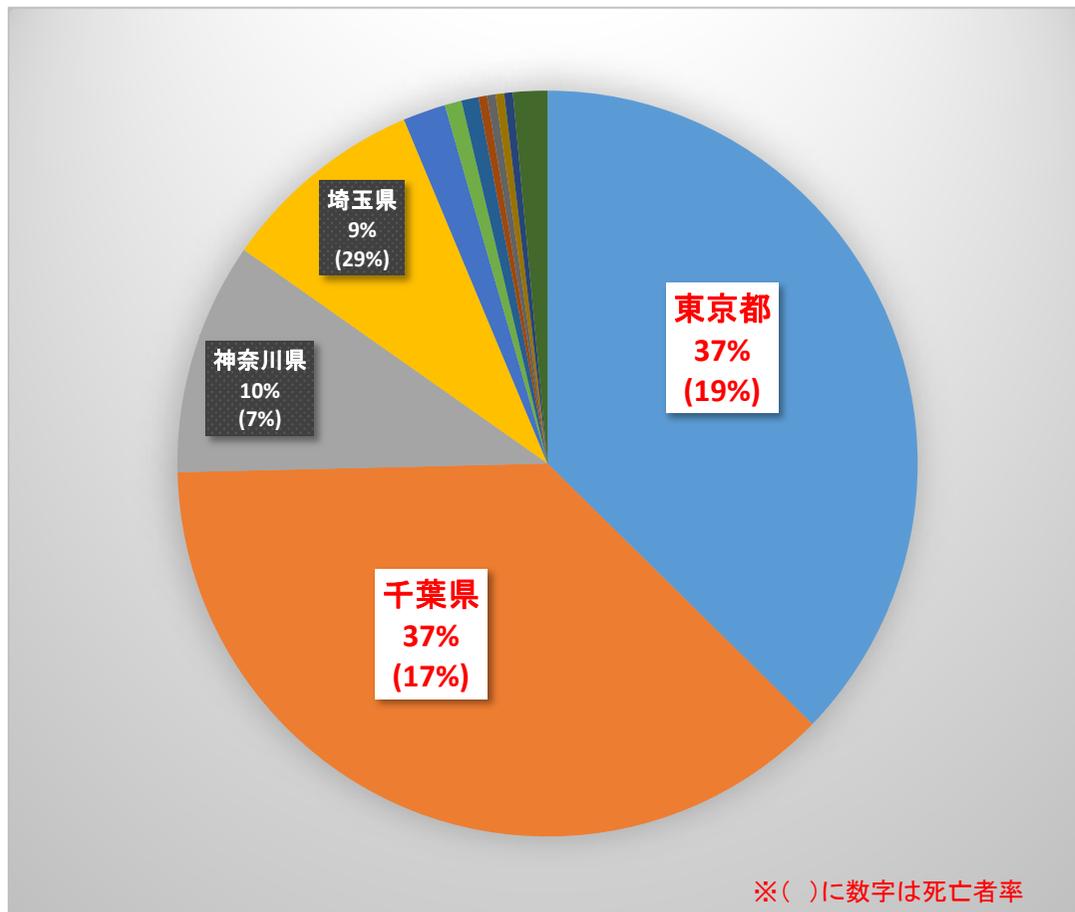
サーフィンの活動頻度から見る事故状況では、月1~2回(29%)、年数回(21%)及び週1回(15%)の順であり、割と頻繁に活動している者が事故にあっている。

死亡事故は、活動頻度年1~2回5人(28%)、初めて5人(25%)、週複数回4人(25%)の順である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：県別）



銚子海上保安部



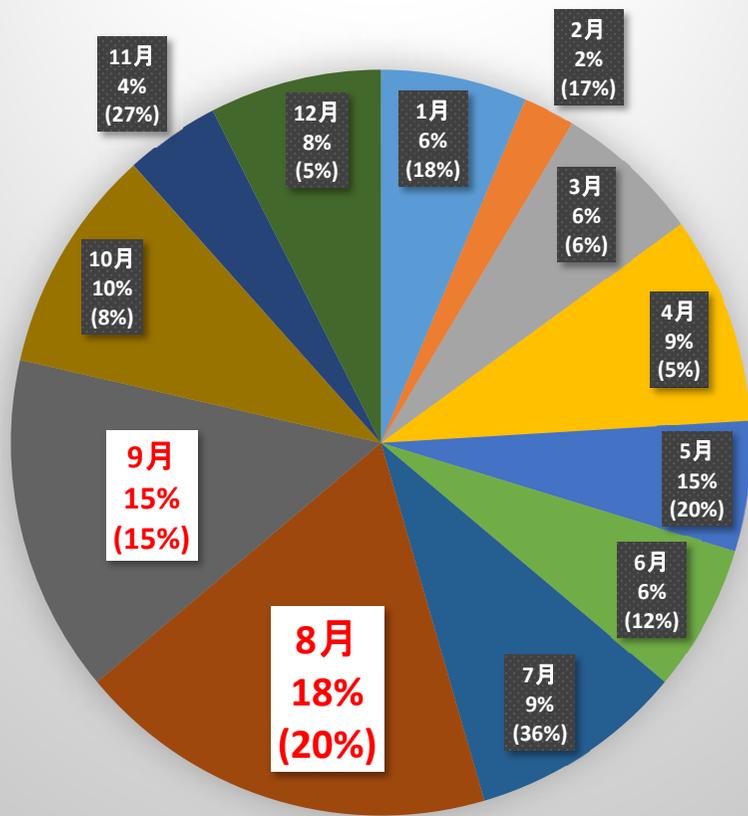
県別	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
東京都	0	3(1)	39(3)	28(4)	21(7)	7(4)	2	0	0	100(19)
千葉県	2	6	34(5)	19(1)	20(4)	14(4)	4(2)	1(1)	0	100(17)
神奈川県	0	1	12(1)	11	2(1)	1	0	0	0	27(2)
埼玉県	0	0	11(2)	6	6(4)	0	1(1)	0	0	24(7)
茨城県	0	0	3	1(1)	1(1)	0	0	0	0	5(2)
京都府	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
山梨県	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
熊本県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
栃木県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
群馬県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
大阪府	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
不詳	0	0	1	1	0	0	0	0	2	4

※ () の数字は死亡者数

サーフィンの県別の事故発生では、東京都と千葉県が同一で74%を占める。

死亡事故は、都道府県別東京都19人(19%)、千葉県17人(17%)、埼玉県7人(29%)、神奈川県2人(7%)、茨城県2人(40%)である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：月別） 銚子海上保安部



※()に数字は死亡者率

月別	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
1月	0	0	8(1)	4	1	3(1)	1(1)	0	0	17(3)
2月	0	1(1)	1	3	1	0	0	0	0	6(1)
3月	1	1	5	7	1	2(1)	0	0	0	17(1)
4月	0	0	15(3)	4	5(3)	0	0	0	0	24(6)
5月	0	0	6	4	(2)3	1	1(1)	0	0	15(3)
6月	0	2	7	5(1)	2(1)	1	0	0	0	17(2)
7月	0	1	9(3)	6(2)	5(3)	3(1)	1	0	0	25(9)
8月	0	3	14(2)	8(1)	16(4)	5(2)	3(1)	0	0	49(10)
9月	0	2	17	7(1)	6(1)	6(3)	0	1(1)	0	39(6)
10月	1	0	9(1)	11	3(1)	1	1	0	0	26(2)
11月	0	0	5(1)	4(1)	2(1)	0	0	0	0	11(3)
12月	0	0	11	4	5(1)	0	0	0	2	20(1)

※()の数字は死亡者数

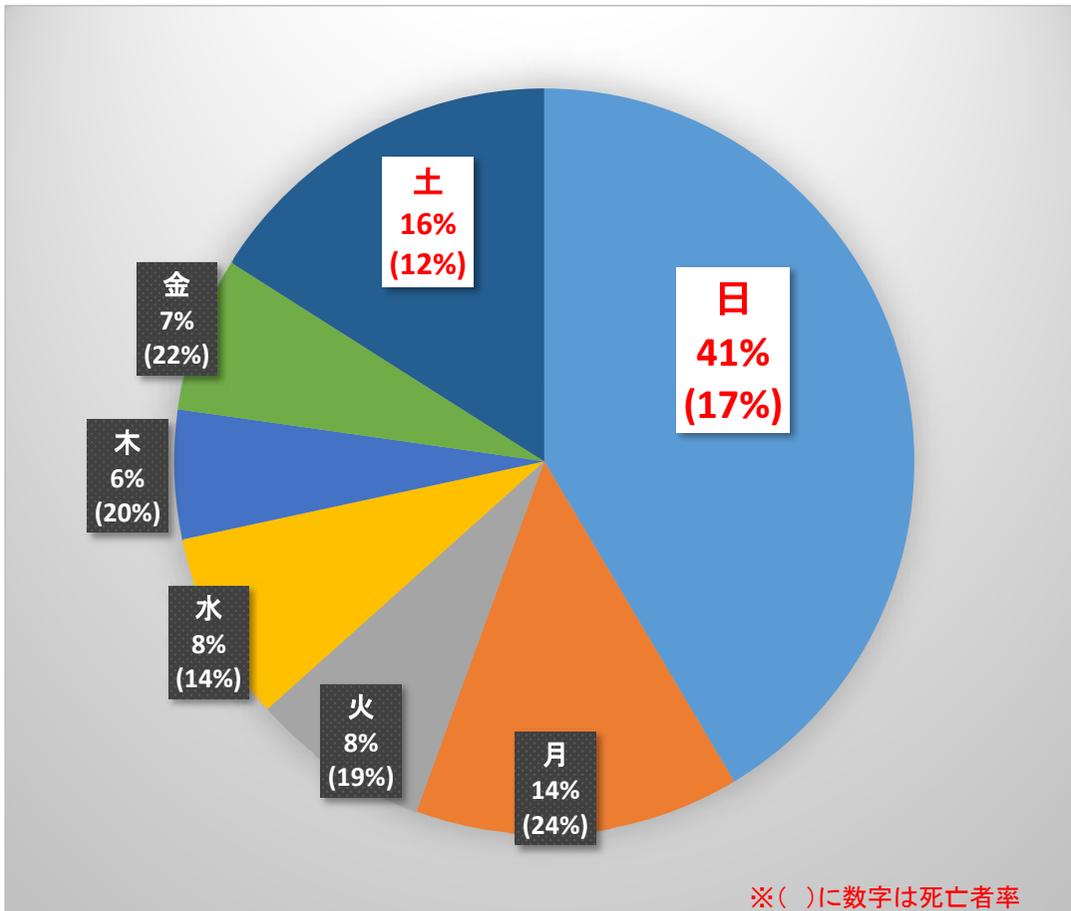
サーフィンの月別では年間を通して事故が発生しているが、やはり夏場(7,8,9月)で42%を占める。

死亡事故は、月別では7月9人(36%)、11月3人(27%)、4月6人(25%)、8月10人(20%)、5月3人(20%)である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：曜日別）



銚子海上保安部



曜日	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
日	0	4(1)	42(3)	26(2)	26(9)	10(3)	1(1)	0	2	111(19)
月	1	2	16(3)	10(2)	5(2)	3(1)	1(1)	0	0	38(9)
火	0	1	7(2)	4	6	3(2)	0	0	0	21(4)
水	0	1	5	6	6(2)	1(1)	3	0	0	22(3)
木	0	0	6	3	4(1)	0	1(1)	1(1)	0	15(3)
金	0	1	9	3(1)	2(2)	3(1)	0	0	0	18(4)
土	1	1	22(3)	15(1)	1(1)	2	1	0	0	43(5)

※（ ）の数字は死亡者数

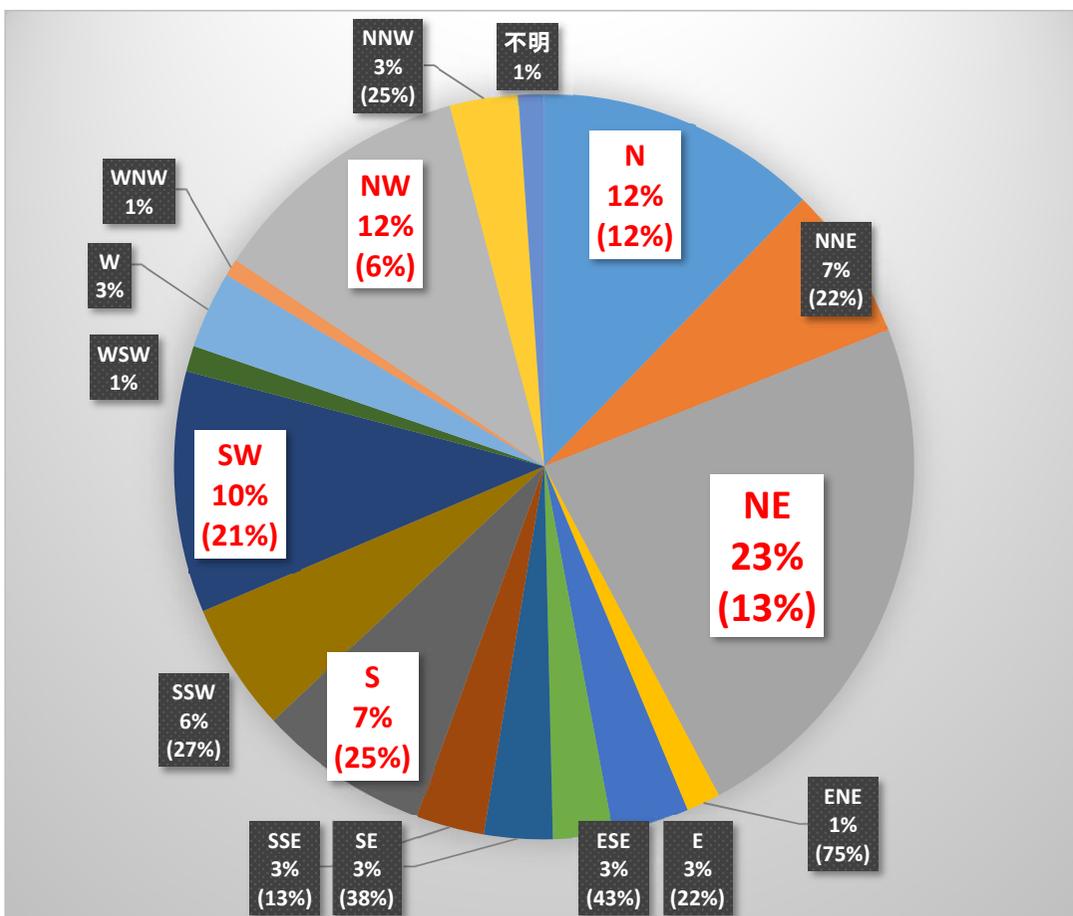
サーフィン事故の曜日別では圧倒的に日曜日に発生しており、土曜日を含めると57%を占める。

死亡事故は、曜日別月曜日9人(24%)、金曜日4人(22%)、木曜日3人(20%)である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：風向別）



銚子海上保安部



※ () に数字は死亡率

風向	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
N	0	0	19(1)	8	3(1)	2(1)	1(1)	0	0	33(4)
NNE	0	0	8(1)	5	4(2)	1(1)	0	0	0	18(4)
NE	1	2	28(3)	17(1)	9(3)	5(1)	0	0	0	62(8)
ENE	0	1(1)	2(1)	0	1(1)	0	0	0	0	4(3)
E	0	1	0	1	3(1)	2	1	1(1)	0	9(2)
ESE	0	1	1(1)	2	1(1)	1	1(1)	0	0	7(3)
SE	0	0	2	3(2)	1	1(1)	1	0	0	8(3)
SSE	0	1	4	1	2(1)	0	0	0	0	8(1)
S	0	1	9(2)	2	6(2)	2(1)	0	0	0	20(5)
SSW	0	0	6(1)	4(1)	1	4(2)	0	0	0	15(4)
SW	0	3	8	6(1)	8(4)	1(1)	2	0	0	28(6)
WSW	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
W	0	0	4	1	2	2	0	0	0	9
WNW	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
NW	0	0	13	12	3(1)	0	1(1)	0	2	31(2)
NNW	0	0	3(1)	3(1)	1	1	0	0	0	8(2)
不明	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3

※ () の数字は死亡者数

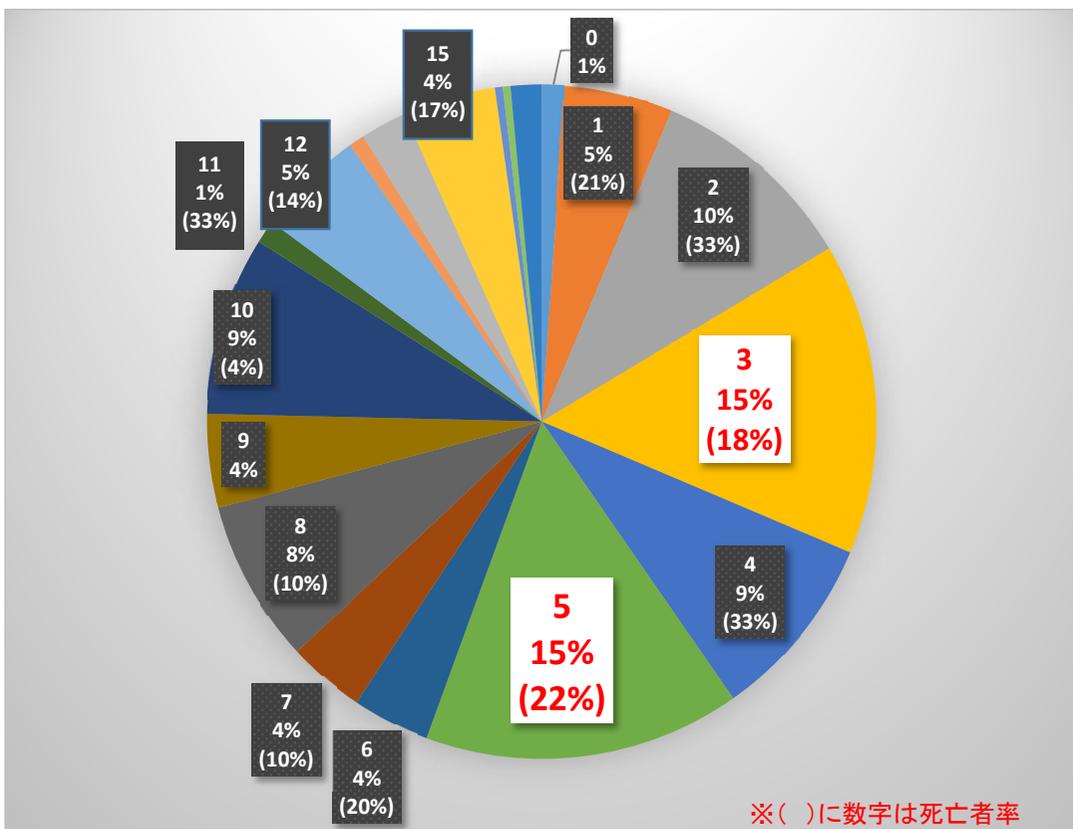
サーフィン事故での風向では、北東、北、北西、南西、南の風の順だが、どの風向でも事故は発生している。

死亡事故は、風向別 ENE 3人(75%)、ESE 3人(43%)、SE 3人(38%) である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：風速別）



銚子海上保安部



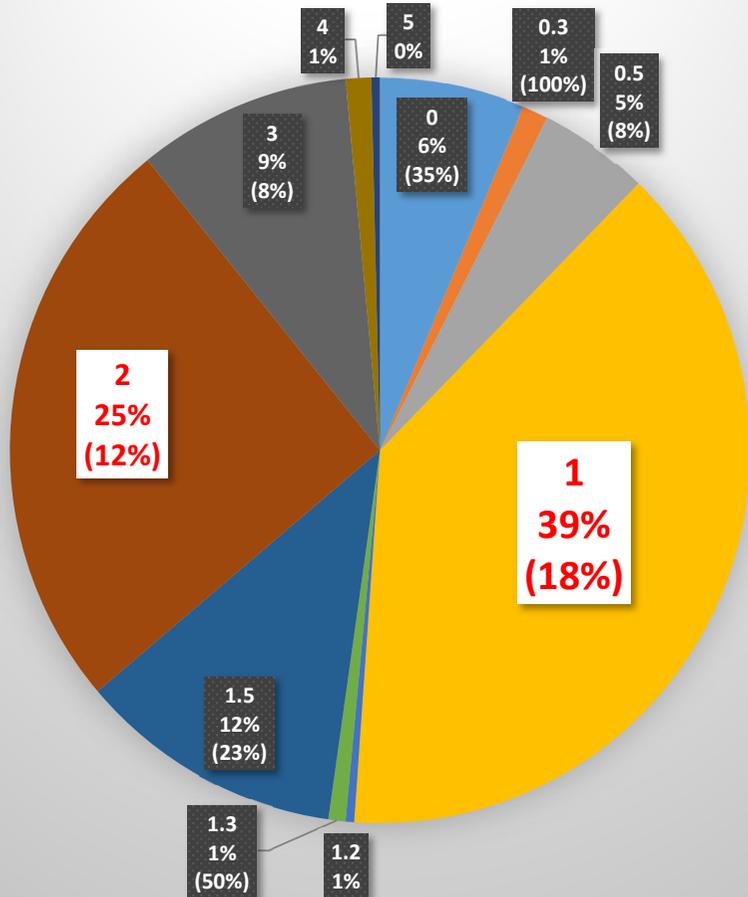
風速	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
1	0	1	2	3	3(2)	4(1)	1	0	0	14(3)
2	0	0	9(1)	5(1)	7(4)	5(2)	1(1)	0	0	27(9)
3	1	2	10(1)	15(1)	6(2)	4(2)	2(1)	0	0	40(7)
4	0	2	8(1)	5(2)	5(2)	2(2)	2(1)	0	0	24(8)
5	0	2(1)	16(3)	11(1)	8(3)	3	0	1(1)	0	41(9)
6	1	1	3	1	3(2)	1	0	0	0	10(2)
7	0	0	4	3	2(1)	0	1	0	0	10(1)
8	0	1	11	4	4(1)	1(1)	0	0	0	21(2)
9	0	0	8	1	1	0	0	0	2	12
10	0	0	10(1)	7	4	2	0	0	0	23(1)
11	0	0	2	1(1)	0	0	0	0	0	3(1)
12	0	0	10(2)	2	2	0	0	0	0	14(2)
13	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
14	0	0	3	3	0	0	0	0	0	6
15	0	1	7(1)	2(1)	2	0	0	0	0	12(2)
18	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
19	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
23	0	0	2	2	0	0	0	0	0	4

※ () の数字は死亡者数

サーフィン事故での風速は、5m次いで3mの順である。
10mの強風注意報発表基準以下での事故率は75%である。

死亡事故の風速別では、2m 9人 (33%)、4m 8人 (33%)、11m 1人 (33%)の順である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：波高別）



波高	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
0	0	3(1)	3(1)	0	6(2)	3(1)	2(1)	0	0	17(6)
0.3	0	0	1(1)	0	1(1)	0	1(1)	0	0	3(3)
0.5	1	0	2	2	3	1	3	1(1)	0	13(1)
1	0	2	40(4)	26(3)	19(6)	15(6)	0	0	2	104(19)
1.2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1.3	0	0	0	0	2(1)	0	0	0	0	2(1)
1.5	1	1	15(2)	8(2)	5(2)	1(1)	0	0	0	31(7)
2	0	1	33(2)	22(2)	10(2)	1(1)	1	0	0	68(8)
3	0	3	10(2)	9	3	0	0	0	0	25(2)
4	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※ () の数字は死亡者数

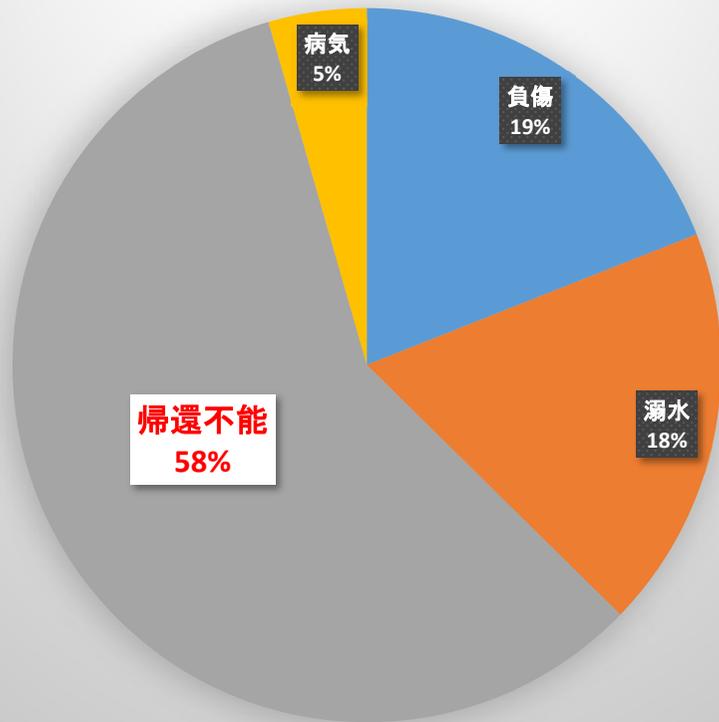
サーフィン事故の波高では、1m次いで2mの順である。2.5mの波浪注意報基準以下での事故率は90%である。

死亡事故は、波高別0.3m 3人(100%)、1.3m 1人(50%)、0m 6人(35%)である。

銚子管内におけるマリナー海難事故状況（サーフィン：事故内容）



銚子海上保安部



事故内容	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
負傷	1	2	5	15	17	8	3	0	0	51
溺水	0	1	14	4	21	7	1	1	0	49
帰還不能	1	6	87	47	9	3	1	0	2	156
病気		1	1	1	3	4	2	0	0	12

死因	10代未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	60代上	不詳	合計
溺死	0	0	9	5	15	4	2	1	0	36
病気	0	1	1	0	2	4	1	0	0	9
行方不明	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2

サーフィン事故では帰還不能が58%で圧倒的である。死亡事故は溺死が36名で、事故者数における死亡率は13%である。

サーフィンの海難事故は、平成13年から令和2年の20年間で268件、年平均13.4件発生している、銚子海上保安部(勝浦海上保安署管轄分含む)管轄内においては、マリンレジャー事故ワースト1である。

サーフィン人口は推定300万人とも言われ、活動年代も、事故発生年代からも分かるように10代未満から70代と幅広い。

千葉県外房は、初心者から上級者まで楽しめるサーフスポットが多数存在し、2020東京オリンピックの競技会場や、首都圏からの良好なアクセスなど、今後も、サーフィン遊戯者の増加が見込まれる。

サーフィンにおける海難事故の各項目結果を以下に示す(上位を記載する。)

- ①年代: 20代=107件(40%)、30代=67件(25%)、40代=50件(19%) **※若・中年層の事故**
- ②経験: 1年未満=53件(20%)、10年以上=53件(20%) **※初心者とベテランの事故**
- ③活動: 月1~2回=78件(29%)、年数回=57件(21%)、週1回=41件(15%) **※活動頻度高い者の事故**
- ④県 : 東京都=100件(37%)、千葉県=100件(37%) **※1都1県で74%の事故**
- ⑤月 : 8月=49件(19%)、9月=39件(15%) **※夏季シーズンでの事故**
- ⑥曜日: 日曜=111件(41%)、土曜=43件(16%) **※休日のレジャーの事故**
- ⑦風向: 北東=62件(23%)、北=33件(12%)、北西=31件(12%) **※北風での事故**
- ⑧風速: 5m=41件(15%)、3m=40件(15%)
- ⑨波高: 1m=104件(39%)、2m=68件(25%)
- ⑩事故: 帰還不能=156件(58%)
- ⑪死因: 溺死=36件(13%)

- ・初心者: 遊戯場所の選定や潮流等の確認を!
- ・上級者: 過信等からくる無謀な行動の自粛を!
- ・単独での遊戯は避け、複数の者が居る場所で遊戯を!